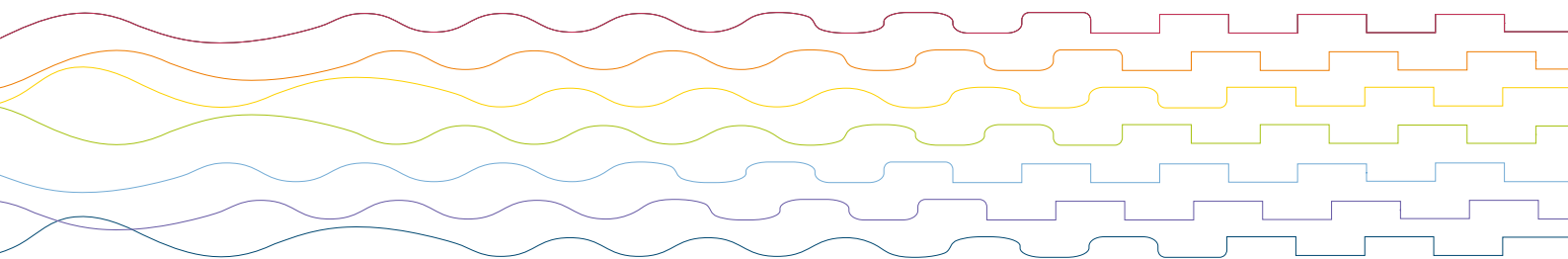


CSR Report 2015

2015 Communication on Progress



コンテンツ

- 03 トップメッセージ
- 04 シナノケンシのCSR取り組み全体図
- 06 2014年度の活動トピック
- 07 組織統治
- 08 労働慣行
- 09 環境
- 10 製品での社会貢献（消費者課題）
- 11 コミュニティへの参画
- 12 人権・公正な事業慣行

国連グローバル・コンパクトとは

2000年に国連で制定された、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わるCSRの基本原則10項目（＝国連GC10原則）に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

基本原則10項目

- | | | |
|--------|------|-------------------------------|
| 【人権】 | 原則1 | ：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。 |
| | 原則2 | ：自らが人権侵害に加担しないよう確保する。 |
| 【労働基準】 | 原則3 | ：組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。 |
| | 原則4 | ：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。 |
| | 原則5 | ：児童労働の実効的な廃止を支持する。 |
| 【環境】 | 原則6 | ：雇用と職業における差別の撤廃を支持する。 |
| | 原則7 | ：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。 |
| | 原則8 | ：環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。 |
| | 原則9 | ：環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。 |
| 【腐敗防止】 | 原則10 | ：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。 |

トップメッセージ

(Statement of continued support by the Chief Executive Officer)

シナノケンシ株式会社では、今後進む国際化（グローバル化）と、それに伴うグループ組織の拡大化を考慮し、1984年に組織の効率的な事業運営と組織統制を目的に企業理念であります「目標と理念」と、社員の行動基準である「社員心得」を制定しました。特に社員の行動基準としては「誠実・公正」「信頼」を当社として伝え続けるべき大切な行動・意識として伝えてきたことは、現在の「企業の社会的責任（CSR）」に通じるところがあると考えております。

2010年には、当社を取り巻く様々な環境変化を考慮し、これらを見直し「シナノケンシの目標」、「社員心得」として新たな企業方針を制定しました。

また2011年度は、これら企業方針を当社のステークホルダーの皆さまに明確に表明し、当社の企業活動内で活用するために、「グループ行動規範」、「コンプライアンスの手引き」、および「グローバル調達基本方針」を制定いたしました。

国連グローバル・コンパクトの参加企業として、GC10原則を支持し、企業の社会的責任を果たし、グローバル社会の要請に応じて参りたいと考えます。

代表取締役社長 金子 元昭

CSR 方針

私たちは「シナノケンシの目標」に基づき、誠実な行動と公正な判断で、事業活動を通して社会に貢献し、信頼されるグローバル企業を目指します。

2011年3月11日 制定

代表取締役社長 金子 元昭

シナノケンシ株式会社 代表取締役社長

金子 元昭



シナノケンシのCSR取り組み全体図

コミュニティへの参画

省エネパトロール隊参加
出前授業
絹糸紡績資料館
会社見学
地域清掃ボランティア
献血
長野県環境保全協会活動
子育て応援Webページ（NPOパレットと共同）

消費者課題

個人情報保護規程
省エネ製品の開発・販売
設計基準・製品安全基準
広告宣伝規程
ISO9001/TS16949認証取得^{*2}
プレクストーク・補聴器の開発・販売

組織

シナノケンシの目標
シナノケンシグループ
行動規範
調達基本方針

人権

社員相談室開設
くるみんマーク認定^{*1}
(2008年)
障がい者雇用の促進
労働組合の結成
育児休業制度・介護休業制度
NPO（パレット）と連携 素敵なパパ講座
ファミリーフレンドリー企業受賞
(2008年)
セクシュアルハラスメントに関する規程
(1999年～)



C S R 方針に基づき、各項目についてC S R活動を推進しています。

公正な事業慣行

貿易管理規程

公益通報者保護規程

下請法の遵守及び教育

職務発明取扱規程

情報セキュリティ対策規程

コンプライアンス推進活動

コンプライアンス規程

個人情報管理規程

労働慣行

安全衛生委員会設置

職場別安全競争

安全衛生パトロール

メンタルヘルス講習

ヒヤリハット提案活動

作業環境測定

リスクアセスメント活動

ワークライフバランス委員会

環境

ISO14001の認証取得^{*3}

ゼロエミッション工場

環境標語の募集

C O₂削減

社内植樹活動

RoHS・REACH対応等有害物質削減活動

社員食堂（地産地消メニュー）

オゾン層破壊物質の非使用



統治

社員心得

CSR方針

2014年度の活動トピックス

最優秀子育て応援企業賞 受賞

子育てにとんがった取り組みを行っている自治体が同盟を結んで、情報交換や情報発信を行うことにより、切磋琢磨しながら子育て支援施策を実施、先導するとともに、広く少子化対策への意識喚起を行う「子育て同盟」から2014年5月に「最優秀子育て応援企業賞」を受賞しました。

これは、当社が「安心、快適の未来を動かす」の企業スローガンの基に社員に仕事で新しいチャレンジを促し、企業成長を目指すと同時に、「社会や家庭とのつながりも大切に」のスローガンを基にした“ワークライフバランス（働く人の仕事と生活のバランス）”への取り組みを推進し、現代の価値の多様性（ダイバーシティ）を理解・実践することの重要性を社員に推進してきたこと、特に、その活動の中の大きな柱である「子育て支援」に取り組んできたことを評価していただきました。



授賞式の様子

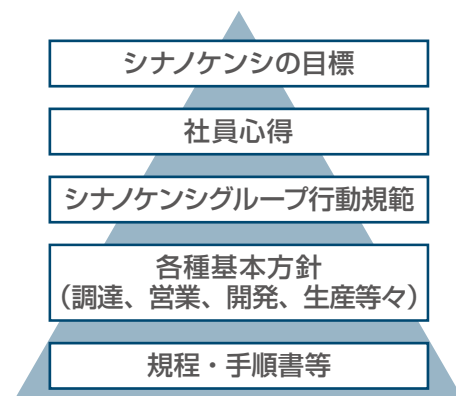
当社の子育て支援取り組み内容

項目	取組状況
ワークライフバランス実現のための社内環境の整備	<p>ワークライフバランス実現を経営トップの方針として明示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社長自らワークライフバランスの必要性を説き、年4回開催される管理職研修で徹底。 ・ 週2回の定時退社日を設けて、労働時間の短縮化を図るとともに、毎月労使による「ワークライフバランス推進委員会」を開催し、月間の残業が45時間以上の社員の仕事内容を分析してその労使で対策を考えるなど残業時間の適正化を推進。 <p>社内環境の整備の結果として、充実した子育て支援制度を活用できる雰囲気社内が醸成されている。</p>
法を上回る育児休業制度、時間短縮勤務制度の運営	<p>1992年4月に制定。育児休業期間は子が3歳の4月末まで、時間短縮勤務制度と時差出勤は小学校就学後の4月末まで取得可能。これにより、女性社員に止まらず男性社員も子どもの送り迎え等が気軽に出来るようになり、育児に参加することで家庭生活が充実し、仕事へもプラスの影響がでている。</p> <p><利用実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児休業制度、過去6年間対象女性職員者100%取得。過去21年間で男性3人、女性229人が取得 ・ 時間短縮勤務制度 過去13年間で男性3人、女性133人が取得 ・ 時差出勤 過去8年間で男性33人、女性3人が利用
在宅型モバイル勤務制度の運営	<p>2007年3月に導入。育児中の開発スタッフが自宅でネットを介してプロジェクトに従事。育児休業中の従業員が自宅で仕事することで、自分のペースで仕事と育児を行うことが可能となった。</p> <p><利用実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3名（技術職2名、事務1名）
父親向け子育て支援講座の開催	<p>2006年8月より、父親向け子育て支援講座をNPO法人や行政と協同し、県内全域を対象に男性の育児参加の促進をはかるための講座・イベント等を行っています。</p>
人事評価制度の運営	<p>男性も女性も育児休業や時短勤務の取得者が、昇格等の評価に不利にならないよう人事考課上の加点調整を行なう等人事制度面で支援。</p>
円滑な職場復帰支援の取り組み	<p>育児休業者の円滑な職場復帰を可能にするため、育児休業復帰講習、通信教育、手続きガイドの作成・配付・定期的な会社情報の配信や家庭訪問等の取り組みを実施。これにより、2009年以降女性従業員の育児休業の取得と復帰は100%となっている。</p>

組織統治

シナノケンシでは、経営の基本方針として「シナノケンシの目標」を、その目標を達成するために5項目の「社員心得」、37項目の「シナノケンシグループ行動規範」を定めシナノケンシグループとして共有しています。

これらの経営理念を基に「コンプライアンスの手引き」、「グローバル調達基本方針」等の制定をし、社内およびステークホルダーの方々に浸透を図るなどの活動を通し、CSRをさらに進化させていきたいと考えています。



経営理念体系図

シナノケンシの目標

- シナノケンシは、常に顧客にとってかけがえのない魅力に満ちた会社であることを目標とします。
- シナノケンシの真の資産は人であり、社員にとっての会社の魅力を大きくすることを目標とします。
- シナノケンシは、人とのつながりを大切にし、事業活動を通じて未来を動かす会社であることを目標とします。

(2010年9月改訂)

社員心得

- 誠実な行動と公正な判断で、信頼を高めましょう。
- お客様の喜びは自分の喜び。自ら考え、自ら行動しましょう。
- 「技」を磨き、世界で成長しましょう。
- 変化を先取りし、素早く行動しましょう。
- 常に全社的な視点とチームワークを忘れず、執念で勝利をつかみましょう。

(2010年9月改訂)

労働慣行

安全衛生管理

社員と職場での災害の未然防止と健康・衛生を確保するために各職場からの代表者による「安全衛生委員会」と「職場パトロール」を毎月実施しています。

2014年度は、休業災害、不労災害ともに発生なく安全な職場を確保しました。

全国安全週間（7/1～7/7）には、「トップの呼びかけ」として社長から労災を無くす安全意識を高める全社集会を開催しています。



職場パトロールの様子

ワンポイントKYT（Kiken Yochi Training）

「不労災害ゼロ、休業災害ゼロ」を継続していくために、「みんなであつながる」をスローガンとし、各職場の管理者が中心となり全員参加でワンポイントKYT（Kiken Yochi Training）、リスクアセスメントを実施し事故を起こさせない活動を実施しています。

※ワンポイントKYTとは、リスクアセスメント検討時に「リスクが有る」ことが発見された場合、または実際に現場でヒヤリ・ハットが発生した場合などに、職場の全員が集まり危険に関する情報を共有し、危険に対する感受性、意識を高める活動です。



ワンポイントKYTの様子

社員食堂

本社工場には社員食堂を完備しており、社員に作り立てで温かい食事をリーズナブルな価格で提供をしています。近年では、地元の食材を使用した地産地消を積極的に進めています。



社員食堂の様子

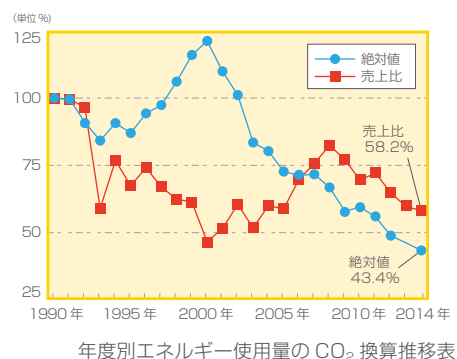
環境

CO₂ 排出量削減① ー地球温暖化防止に向けてー

地球温暖化防止対策として当社も事業所からの CO2 排出量削減に積極的に取り組んでいます。

設備（ハード）面では、照明の LED 蛍光灯への切替え、インバーターの設置、生産設備の統合等の対策を実施しました。

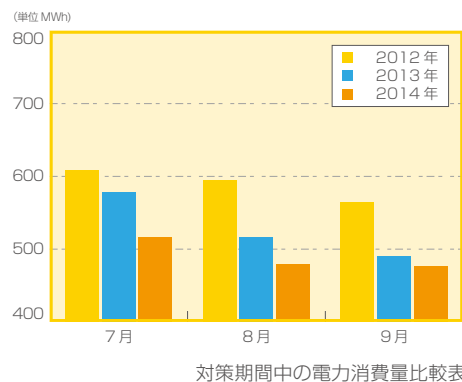
運用（ソフト）面では、空調機器用吸込み口フィルターの掃除、空調の温度のタイマー管理、パソコンの画面設定等の対策を実施しました。



CO₂ 排出量削減② ー夏季節電対策ー

2014 年は、電力の安定供給が見込まれ伝慮会社からの節電要請等はありませんでしたが、電力需要が増加する 7 月～9 月、12 月～2 月の期間に全社を挙げて節電対策を実施しました。

これにより夏期の電力は昨年度に比べて 3.7% の削減を実施することができました。



高効率小型モータ（省電力） ー当社製品による環境負荷低減へー

私たちの工場で開発・生産・販売しているモータは、よりエネルギー消費が少ない省エネタイプのモータを開発し、お客様に提案をしています。

更なる省エネ性能に優れた製品をお客様に提供するために、従来のモータ単体商品に、効率的にモータを動かすための制御装置を標準で組み合わせた商品の販売を開始するなどを通して、省エネモータの普及を促進しております。



サーボドライバ&ステッピングモータ

製品での社会貢献（消費者課題）

デジタル録音図書読書機 「PLEXTALK（プレクストーク）」

厚生省の呼びかけに応じて視覚障がい者向けの CD 読書機の開発に取り組んだ当社と、初期 DAISY を試作したスウェーデン国立点字録音図書館が、1995 年に国際的な共同研究開発を始めました。こうして、デジタル録音図書の国際基準 DAISY (Digital Accessible Information System) が生まれました。それから十数年にわたって、世界の視覚障がい者や識字障がい者の皆様の QOL (Quality of Life) 向上をサポートする取り組みとして、ユーザビリティを追及した DAISY 読書機「PLEXTALK」の開発・提供を続けています。



デージー・プレクストーク パートナーミーティングの様子

マルチメディア/テキスト DAISY 製作ソフトウェア「PLEXTALK Producer」

2014 年 1 月に国際連合の「障害者の権利に関する条約」を批准し、これに伴う国内の法整備として、2016 年 4 月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる障害者差別解消法）」が施行されます。

教育の分野では、特別支援学校・学級に在籍する児童生徒、また通常の学級に在籍している児童生徒にも「読む」または「書く」に特別な支援が必要な児童生徒が在籍しています。このような、読み書きに特別の支援が必要な児童生徒に対する合理的な配慮として、マルチメディア DAISY による情報提供が期待されています。



マルチメディア / テキスト DAISY 製作ソフトウェア
「PLEXTALK Producer」

補聴器 「美聴」

当社は、軽度～中等度難聴の方に適した聞こえを補う機器として、「やさしい、かるい、ききやすい」をコンセプトとした補聴器「美聴」を通じて、おもに高齢者の皆様の QOL (Quality of Life) 向上に貢献しています。加齢による難聴の中でも特に聞き取りにくい音域をリアルタイムに強調して人の声を明瞭に聞こえやすくする「くっきりボイス」機能や、耳穴の位置で音を拾う「耳もとマイク」で心地良い音、自然な音のきこえをお届けします。



補聴器「美聴」

コミュニティへの参画

清掃ボランティア

本社工場周辺では、毎年、周辺地域の清掃活動、および地域清掃イベントなどにも参加し、地域の皆様とのコミュニケーションをはかっています。



清掃ボランティアの様子

信州省エネパトロール

2005年から長野県は、(社)長野県環境保全協会に委託し「信州省エネパトロール隊」として、地球温暖化防止のために省エネルギー診断を行うボランティア活動を開始しました。企業の枠を超えて蓄積されたノウハウを相互に提供しあって改善提案を重ねています。

当社も設立当初から「信州省エネパトロール隊」の一員として各企業の省エネ診断に参加し、現在は東信分隊長としての役割を担って活動しています。



信州省エネパトロールの様子

絹糸紡績資料館

ノコギリ屋根と呼ばれ自然採光を取り入れた、かつての絹紡工場を改装した絹糸紡績資料館は、地域の産業と文化を伝える「産業遺産」として認定され、社内の保存資料のほか、日本絹紡協会の保存資料を全て引き継ぎ、絹糸紡績で明治・大正・明治の時代に生きた産業人の心意気や、糸の町として栄えた地域の歴史を伝える貴重な歴史を、写真・製品・映像・パネルで紹介しています。

本社構内にある同館には、信州のシルク文化や歴史を紹介するスポットのひとつとして、県内外の各地から多くの来場者が訪れています。



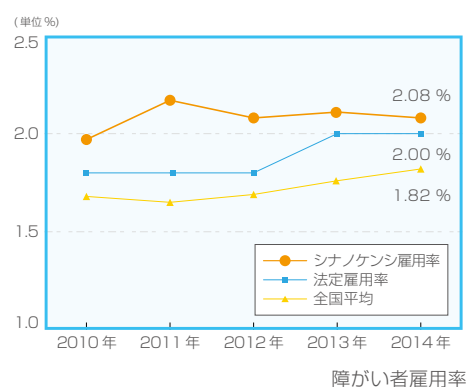
絹糸紡績資料館

人権

障がい者雇用の促進

障がい者の高い定着率の実現も社会的責任であると位置づける当社は、障がい者にとって働きやすい職場環境作りを目指し、障がい者の雇用促進に努めています。2014年度での障がい者雇用率は2.08%となっています。

左記グラフは各年度（期間：4/1～翌年3/31）の集計を使用しております。



公正な労働慣行

- コンプライアンスを維持するための基本的方針を「シナノケンシグループ行動規範」、「グローバル調達基本方針」に定め、グループ内への浸透を図っております。
- 企業倫理に関する自らの行動・周囲の行為、職場の状況など、各従業員が疑問に思うことについての相談や通報を受け付ける「通報窓口」を設置し、問題の事前防止と早期発見につとめています。
- 「公益通報者保護及び管理規程」を制定し、相談者や通報者に対して不利益を与えることを禁止する旨を明記し、これによって相談者や通報者を保護し、リスク発見の機会を拡大しています。



